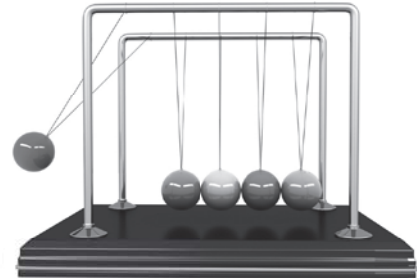


立ち読み版

特集

世の中の流行や慣習は、絶え間なく移ろっている。それに伴い、たとえばビジネスシーンでの位置づけが大きく変わったネクタイ産業のように、多くの産業が変化に対応できずに衰退、もしくは進化も含めて変貌を遂げている。本特集では、変化をもたらした外部環境の中でも特に影響の大きな4つを「盛衰要因」とし、衰退への対策を検討した。ビジネスモデル改革の動きが広まる中、貴重な独自研究として、皆さんにも一読をおすすめしたい。

産業の盛衰要因を探れ!



- はじめに 盛衰要因を探る理由 山崎 泰嗣
- 要因① 構造要因による顧客の変化 大曾根俊一 日景 聡 林真木子
- 要因② 産業集積の競争力低下 原辺正守 原茂 亮
- 要因③ 技術進化によるイノベーション 石井邦利 井對孝徳 山崎泰嗣
- 要因④ 法規制と業界団体 松永智子 姫野智子 藤井無限
- まとめ 衰退要因を乗り越えて 木下 忠

特集

1

産業の盛衰要因を探れ!

【はじめに】

盛衰要因を探る理由



山崎 泰嗣
ビジネスモデルカフェ/中小企業診断士

はじめに | 1

秋、衣替えを過ぎても、そして間もなくやってくる本格的な冬を前にしても、ネクタイを着用するビジネスマンが少なくなった。調べてみると、ネクタイの販売が非常に落ちている一方、ファッション性の高いワイシャツの販売が明らかに高まっているようだ。

クールビズが定着したいま、ネクタイ産業はどうなっているのだろうか。この素朴な疑問が、当執筆とここまでに至る研究を始めた理由である。

こうした産業はいくらでもある。レコード針や石炭、造船等、多くの産業が何らかの変化に対応できずに衰退していく現実。生命界であれば、変化への対応=進化は、子孫の繁殖によって自然に行われる。しかし産業界では、自然を望むのは難しい。意識的に変化しなければ、早々の市場からの退場が待っている。

わが国では毎年、1万件以上の倒産、つまり変化できない企業が存在する。そしてこれらの企業に対し、経営革新ができていないとか、企業内の組織改革ができていないといった指摘がなされる。たしかに、管理可能要因として内部に注目し、

その改善・改革を図るのは当然である。しかし、私たちは中小企業を見ていて、外部環境の変化やその可能性を本当に見ているのかという疑問を抱いてしまう。

ビジネスモデルの研究は比較的、企業内部および外部との関係性に注目して行われるが、ビジネスモデルが築かれる前提となる外部環境は軽視されやすい。まずは外部環境を正しく捉えることが、変化対応、ビジネスモデル構築の第一歩だろう。

ここでは、外部環境の中でも特に影響の大きな要因を「盛衰要因」と規定し、それを明らかにするとともに、衰退への対策を検討することは、企業としての変化対応策、ビジネスモデル策定にも意味があると考えた。本特集では、産業へのインパクトを与える外部環境の変化にはどのようなものがあるのか、要因別にその一部を披露することとしたい。

PEST分析 | 2

マクロ部分の外部環境分析を行うフレームワークとして有名なのが、PEST分析だ。これは、外部環境を4つの環境要因に区分けし、その影響度を企業にとってプラスとマイナスの大きさに計る

続きは雑誌で